

令和2年8月5日

来学者各位

情報科学領域長
松本 健一

入棟時のサーマルカメラによる体温計測のお願いについて

拝啓

避暑の候、皆様におかれましては一層ご清祥のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの最近の感染状況を鑑み、感染の早期発見及び拡大防止を目的に大学の主要所にサーマルカメラが随時設置いたします。

情報科学棟の正面玄関にもサーマルカメラを設置いたしました。これは正面玄関からの入棟者の顔表面の体温を自動計測するカメラ・システムです。お手数ですが、入棟の際には必ず検温をお願いします。なお、裏玄関から入棟される場合も、必ず正面玄関の計測可能範囲まで回り測定のうえ入棟してください。

また発熱時はアラームによる警告がなされます。その際は入棟を御控えいただくよう併せてご理解と御協力をお願いいたします。

計測方法等の詳細は下記のとおりです。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

敬具

記

(計測方法)

ディスプレイの青色枠内が計測可能範囲です。範囲内を歩行することで、サーモグラフにより自動計測され、同場所に設置されているディスプレイに検温結果が表示され、体温が設定温度以上の場合、該当者の顔が赤枠になりアラームが鳴ります。走ると計測できません。また帽子をかぶったままや前髪等で顔が隠れていても計測できません。脱帽の上、顔がサーマルカメラに映るようにし、歩いて入棟してください。ディスプレイにてご自身が計測されているか、ご自身の顔が赤枠になっていないか、アラームが鳴っていないか確認してください。

(アラーム設定温度)

37.5℃以上です。英語で警告されます。

(アラームが鳴らなかった場合の対処)

手指を消毒してから入棟してください。手指消毒液は、出入口及び各エレベータホール付近に設置しています。

(アラームが鳴った場合の対処)

ご自身かどうかをディスプレイにて確認してください。ご自身が赤枠表示及びアラーム対象になった場合でも、外気温にカメラが反応して鳴るときがあります。ご自身の赤枠表示およびアラームがなった場合は、まずディスプレイ前の白色テープの上に立って再確認してください。この際に

○ご自身の顔が緑枠になった場合は、(アラームが鳴らなかった場合の対処)と同じ対応をしてください。

○引き続きご自身の顔が赤枠になりアラームがなった場合は、入棟をお控え願います。

以上